



早いもので、中学一年生の生活の3分の2が終わりました。昨日から期末テストが始まっており、すでに9教科中6教科が終わりました。明日は最終日。英語、理科、保体のテストにも全力で取り組むことを期待しています。また、テスト後は、自分が解けなかった問題に再度向き合い、教科書やノート、ワークなどで解き方を確認したり、先生に質問したりして、わかるようにしておくことが大切です。その積み重ねが、必ず、2年後の自分を楽にしてくれます。

真備での防災学習

地域内の組織が繋がって命を守る活動を進めます



11月16日水曜日、倉敷市真備町で防災学習を行いました。今回の校外学習の目的は次の3つでした。
①水害の被害を体験された真備町の方から、当時のお話を聴かせていただき、事実を知ること。
②「ハード面での備え」と「ソフト面での備え」について知り、実際にできる備えを考える。
③箭田まちづくりの方々とはふれあひながら、真備町ならではの活動をさせていただく。

午前10時に真備に到着しました。出迎えてくださった箭田まちづくりの方々にご挨拶をしたあと、事務局長でいらっしゃる守屋さんから、平成30年7月豪雨の被害と復興の様子について、詳しくお話をしていただきました。4年が過ぎた今でも、近所の亡くなった方のお話では「離れて暮らしていらっしゃる娘さんの連絡先をお聞きしていれば・・・」と涙されました。お聴きしながら、近所にどんな方が住んでいて、その方に万が一のことがあった場合は、どこに連絡をすればよいかを知っておくことの大切さを痛感しました。生徒代表で感想を述べた畑さんは、「日頃から地域で協力する」ことが、災害時での協力に繋がっていくことを実感し、守屋さんの「地域で繋がる」という言葉が一番心に残ったと話しました。この感想を聞かれた守屋さんからは、「協力・繋がるということが一番伝えたかったので、そこを聞き取ってくださいってうれしいです。」と仰っていただきました。



次に向かったのは、「小田川合流地点付替え」工事現場でした。平成30年豪雨で、高梁川の水位が上昇したことにより、小田川に水が流れにくくなるバックウォーター現象が発生し、小田川の水位が上昇したことから、小田川と高梁川との合流地点を4.6km下流へ付け替えることにより、水面の高低差が大きくなり、高梁川へ水が流れやすくなり、付替え前より小田川の水位が低下し、小田川沿川地域及び倉敷市街地の治水安全の向上が図れるそうです。水の流れを変える工事は、容易ではないとは思っていましたが、展望台から見た川の大きさは、想像以上に壮大でした。来年完成予定です。



(裏面に続く)



午後からはクラス活動で、A組は河川敷で草取りとマレットゴルフを楽しみ、B組は吉備真備駅前で、「男結び」という紐の結び方を教えていただき、竹垣に結んでいきました。また、細く割った竹で花壇に「やた」という字を作っていました。



まちづくりの方々が、すべての活動で和やかに、丁寧に教えてくださったおかげで、生徒たちは、すぐに心を開いて楽しそうに会話をしながら活動していました。特に、「二度と水害が起こりませんように」と言って、黙々と草取りに励んでいたA組の様子や、男結びが難しく、何度も何度も聞いてチャレンジしているB組の様子を見て、「真備に来させてもらってよかった」としみじみと感じました。

箭田まちづくりの皆様、わたしたちのために準備や後片付け、また当日の活動を楽しませていただき、ありがとうございました。



運転手さんに代わり、優しい笑顔で消毒してくれた実行委員さん。ありがとう！

校外学習 生徒の感想から抜粋

○被災当時のお話を聴いて。悲惨さや辛さを改めて感じました。でも、そんな悲しみから立ち直り、復興を目指して近所で助け合いながら生活したということを知り、パワーをいただきました。そして、「物は買えるけど、命は買えない」という言葉がとても心に残りました。命の尊さ、大切さを改めて感じました。

○お話を聴いて一番印象に残ったのは、「気がついたら対処する」という言葉です。皆、自分の家が水に流されたり、浸かったりしてしまい大変な時こそ、思いやりが必要だと思いました。私も「箭田家の約束」を広め、災害を身近な存在にしていきたいです。

○今日のお話を聴いて、家族に伝えたいことがたくさんありました。まず備えが足りないこと、いざという時にどこに集まるか、ということももっときちんと家族で話し合いたかったです。

○マレットゴルフは初めてだったけど、ボールを打って穴に入れることがとても楽しかったです。箭田まちづくりの方が水害の時の話をしてくださったり、優しく上手に教えてくださったりしたので、とても有意義でした。また箭田まちづくりの方々と一緒にマレットゴルフをしたいです。

○マレットゴルフをしてみて、狙ったところに力加減に気をつけて打つことが難しかったです。最後の方に穴に入れることができるようになったことがうれしかったです。

○草取りをしているとき、自分も復興のお手伝いをしている感じがして、うれしかったです。

○竹筒でふちどった「やた」の文字は、竹の高さをそろえるのが難しかったけど、上から見るときれいにそろっていたので、うれしかった。また、箭田の方々「やた」を大切にされている気持ちが伝わってきました。

○私は、知らない人と話すことが苦手なので、不安でしたが、箭田の皆さんと一緒に活動しているうちに、昨日まで知らなかった人なのに、つながりを感じうれしくなりました。

保護者の皆様へ 12月15日、16日の保護者懇談、お世話になります。12月6日(火)には、各クラスの懇談予定表を配布します。ご確認していただき、ご都合がつかない場合は、お知らせください。